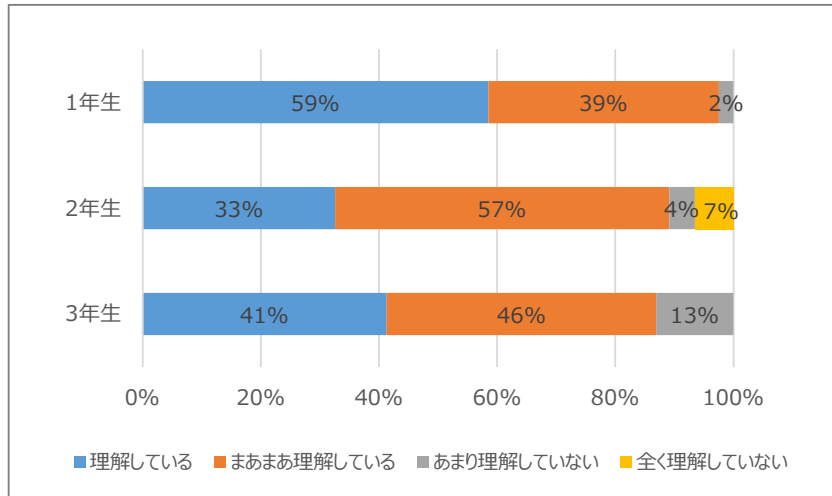


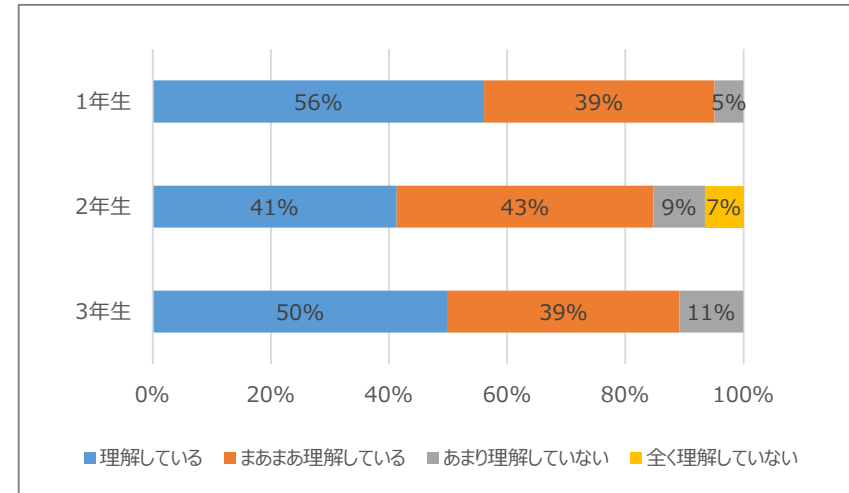
IX. 学生アンケート結果

【学生の学ぶ姿勢】

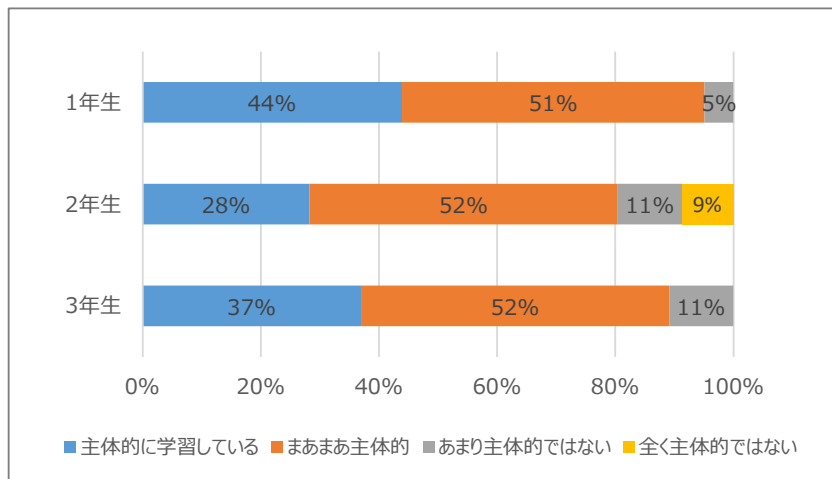
1. 本校の教育理念や教育目標、学年目標を理解していますか？



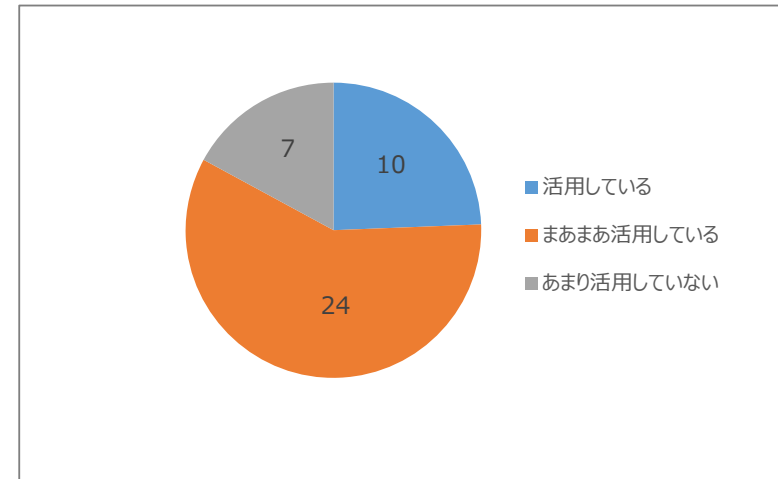
2. あなたは本校の期待される卒業生像（卒業時到達目標）を理解していますか？



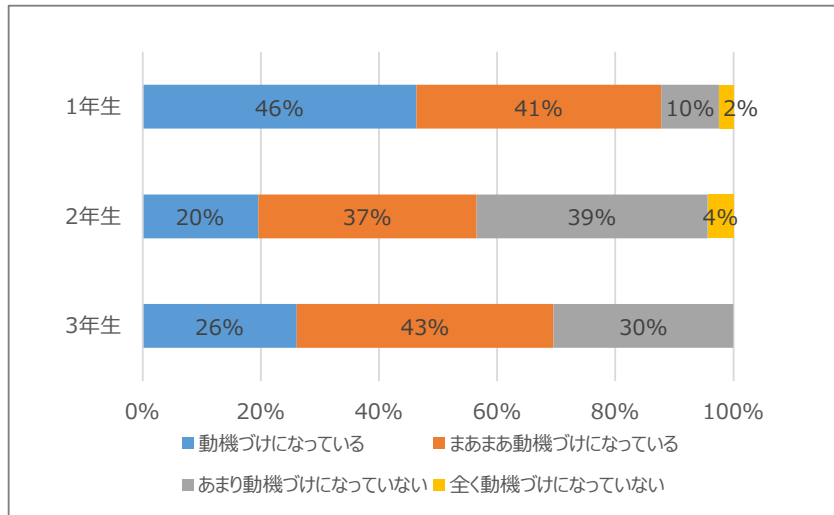
3. 学年目標を意識して主体的に学習していますか？



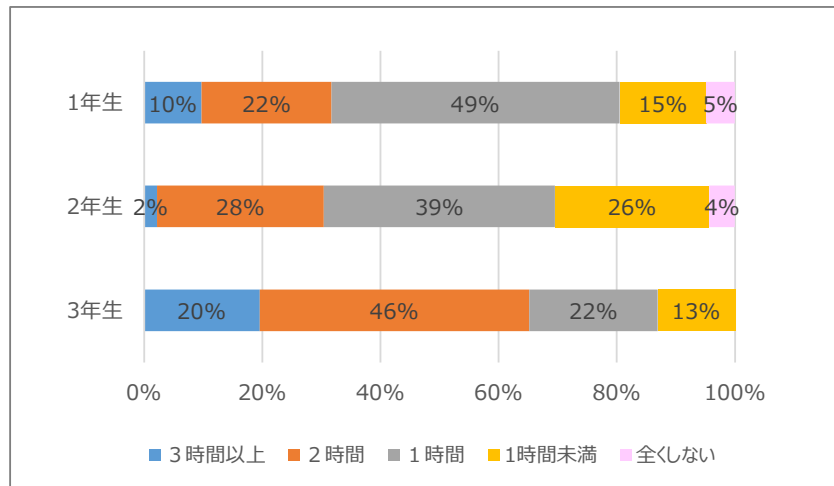
4. 「学生便覧」「授業要項（シラバス）」を活用していますか？【1年生のみ】



5.今年度から授業評価を実施していますが、授業評価をすることで主体的な学習の動機づけになっていますか？

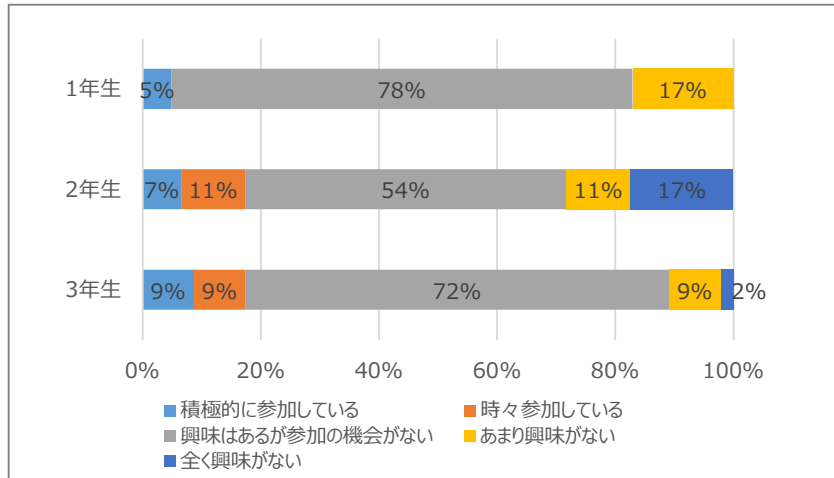


6.授業以外での自宅や学内で、予習・復習に費やす時間はどれぐらいですか？（1日）



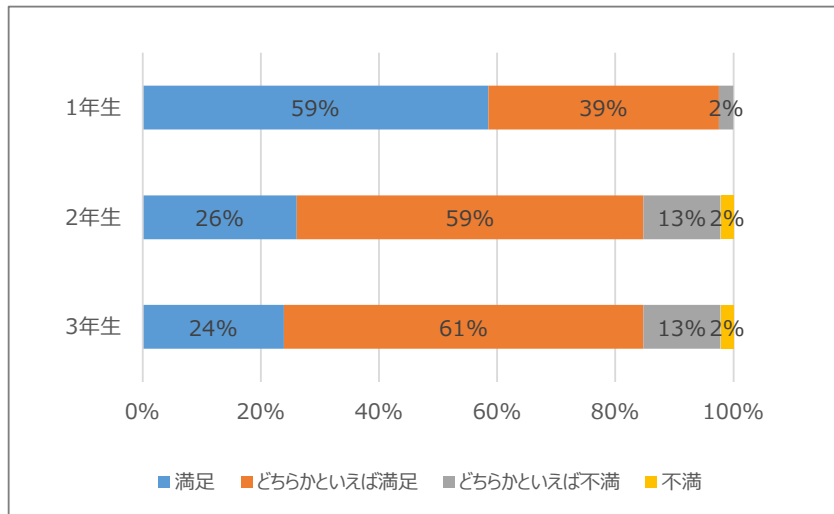
【 課外活動 】

7.地域活動（アルバイトを除くインターンシップ、ボランティア、地域清掃活動等）に参加していますか？

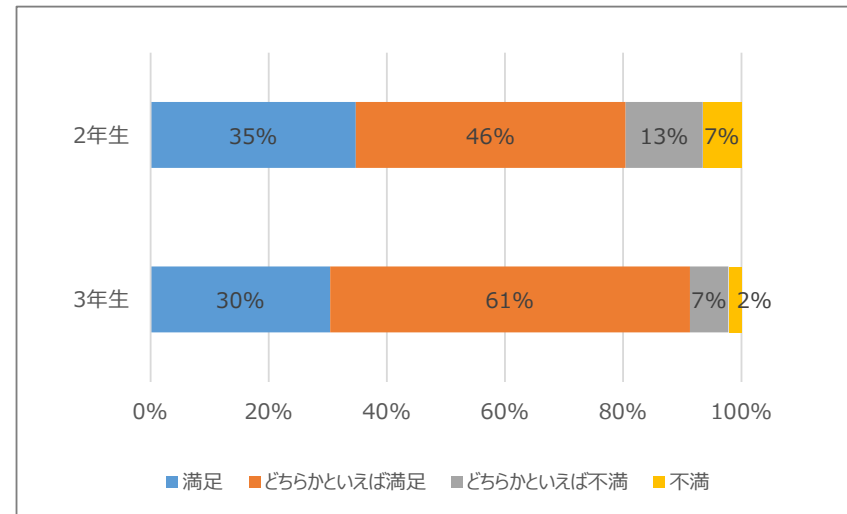


【 支援体制 】

8.あなたは学校職員のサポートに満足していますか？

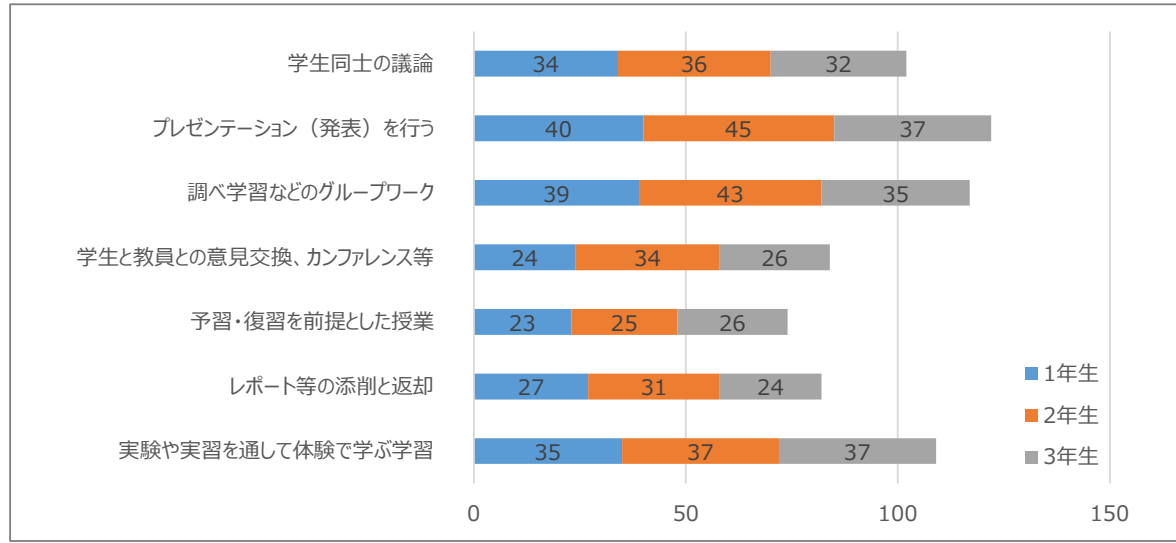


9.あなたは臨地実習施設の指導者のサポートに満足していますか？【2・3年生のみ】

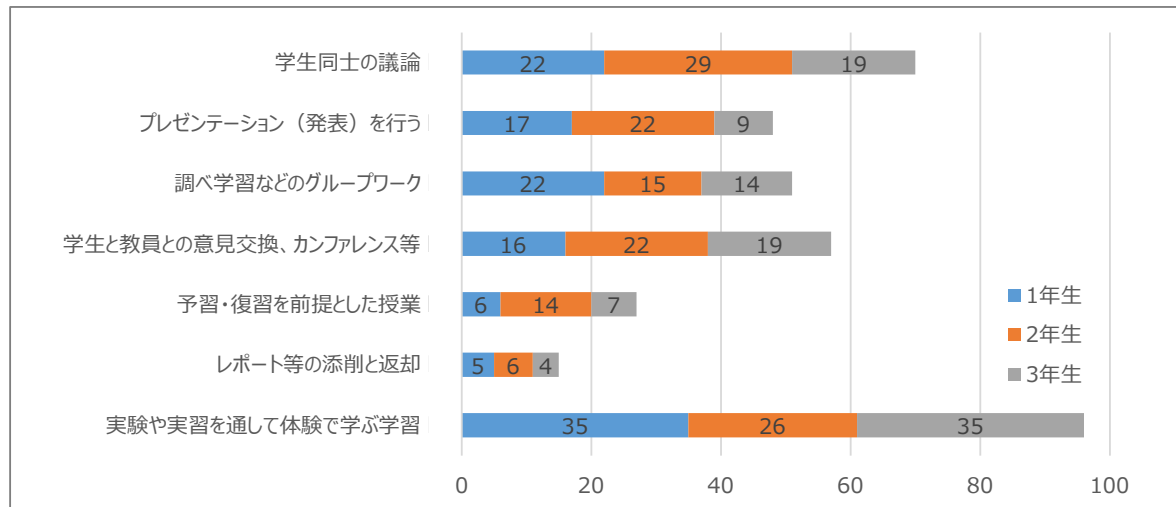


【学習形態による学び】

10. 受講した授業の中で経験した活動について、あてはまるものを全て選択してください（複数選択）

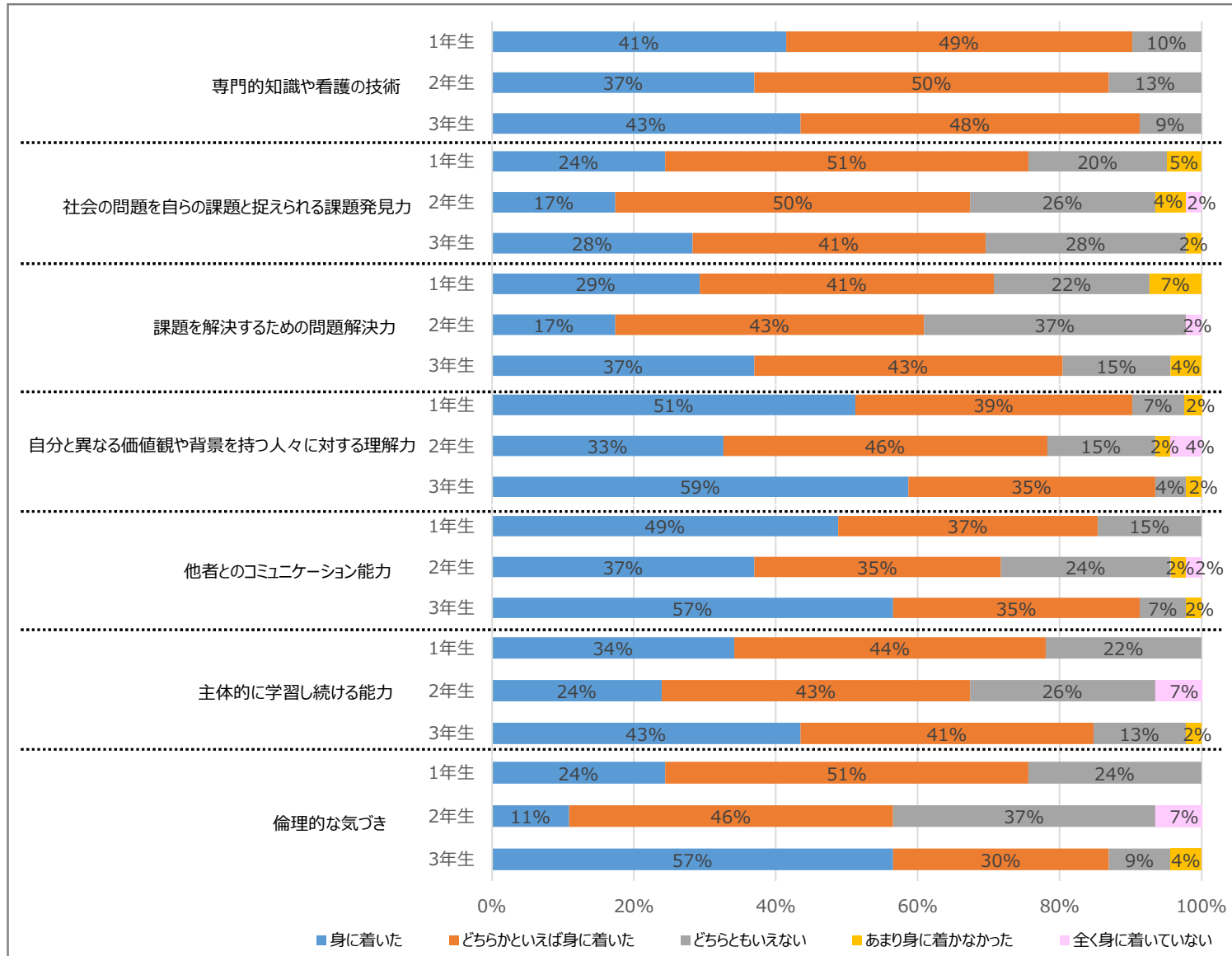


11. 問10の経験した活動の中で、「学びが大きい」と感じた活動を全て選択してください（複数選択）



【本校で身に着いた能力】

12.本校に入学してあなたは次のような能力がどの程度身に着いたと思いますか？



13.問12の設問の能力や成長に最も役立った活動はどんなことですか？

【 1年生 】

グループでの意見交換、演習、学生同士のディスカッション	演習で患者役の方と、本当の看護師と患者としてコミュニケーションを取ることができた。
グループでの討論をやって、少しずつ自分の意見が言えるようになりました。	演習など実際に自分で動く活動をする事。
コミュニケーションの授業で話しやすい距離や位置などを実際に体験したこと。	演習に伴う授業や自主的な技術練習
校内演習	演習や活動などを通して看護について少しずつ身につけてきた。
専門的技術や看護の技術	演習後の学生同士のカンファレンス
様々な年齢のクラスメイトとの交流	環境の講義でシミュレーション?をしたことです。
それぞれの先生方の講義内容でも初めて知ることが多かったのですが、体験活動を多く取り入れてくださったことで実感しやすかったです。	看護学概論などの授業
リフレクションという課題を与えられる事で、しんどくなってしまいう時もあるが、深い探究心を持てる。そうすることで、自分自身に新たな発見があったりする事を知った。その気持ちを認めてもらえたり一覧にしてもらえたり、コメントをもらえる事が、安心して学びが出来る環境だと思う。	
演習が1番成長につながった。演習は予習をしないと動けないし、復習をしないと忘れてしまうので予習や復習をきちんと行えた演習が1番自分の中で役に立った。	
演習が頭に入りやすく学びやすかったです。その後のカンファレンスでは他の人の意見も聞いて納得いったり気づけることができました。	
技術においては日々の演習が、理解力や倫理的な面については看護学概論での調べ学習やグループワークが役立ったと感じた。	
講義内容での気づきもありましたが、学生同士での意見交換の場では、それぞれの視点があり自分の目のいかなかったところや、考えがあることを知ることで、自分の視野を広げ学ぶことができるようになりました。	
授業中ノートにまとめることがないので、自宅学習でノートにまとめ、自分の理解できていない内容を把握し復習することで主体的に学習し続ける能力が身についたと思う。	
他者とのコミュニケーションは、看護技術や、コミュニケーション論などで演習をしたり出来たので、色々な人と喋れるようになれました。	

【 2年生 】

実習やグループワークなど	自分とは異なる価値観など
グループワークなど仲間の意見を聞いて考えて自分の考えに取り入れることなど	事例を通しての自己の考え方を共有したり、人の考え方を聞くこと
コミュニケーション	専門知識や看護の技術、他者とのコミュニケーション能力
学生間の討論	他者とのコミュニケーション
学生同士での意見交換	予習復習
学生同士のグループワーク	演習
グループワークをすることで、互いのアイデアの共有をすることができ、協調性を養えると思います。	
先生方が質問に的確に答えてくれるので疑問が解消された。根拠を探る視点ができ、自己学習で調べて知識を深掘るようになり、学ぶことが楽しくなった。	

【3年生】

実習

グループワーク

他者とのコミュニケーション能力

他人の意見を受け入れるようになった

問題解決能力

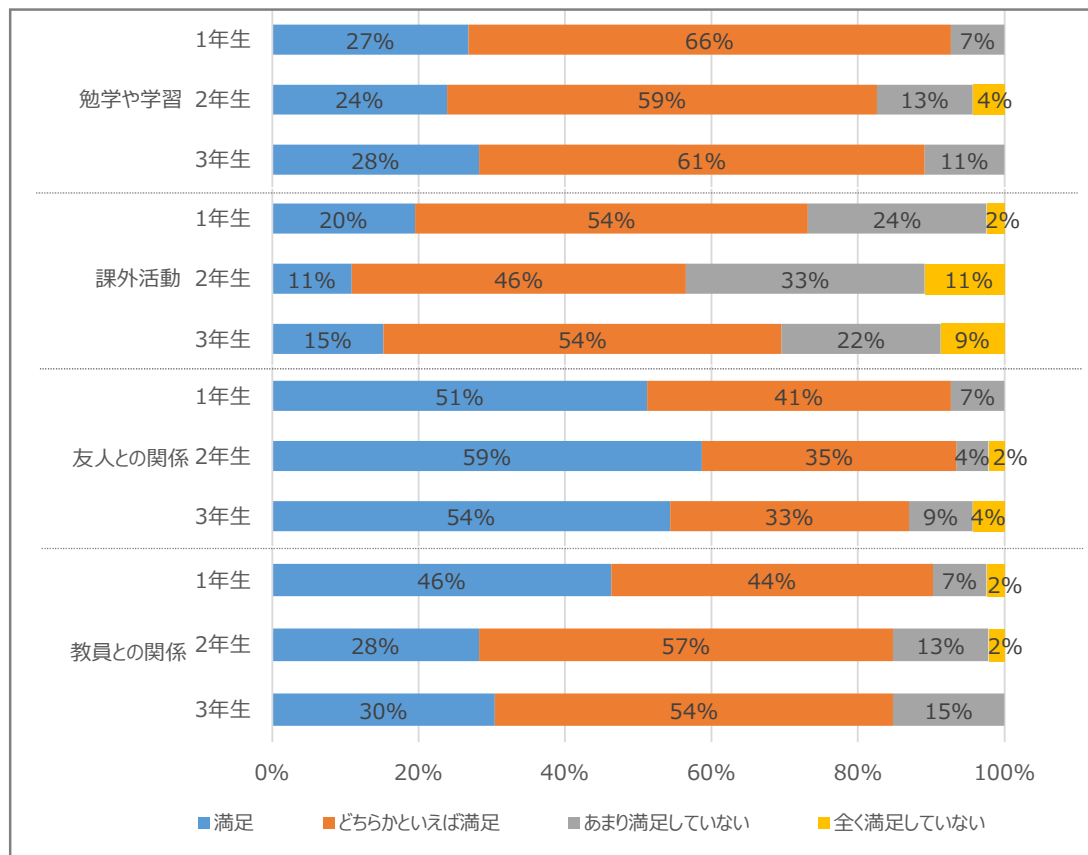
倫理と知識

倫理的な気づきは、実習の中で患者さんのジレンマを考えることが出来た。

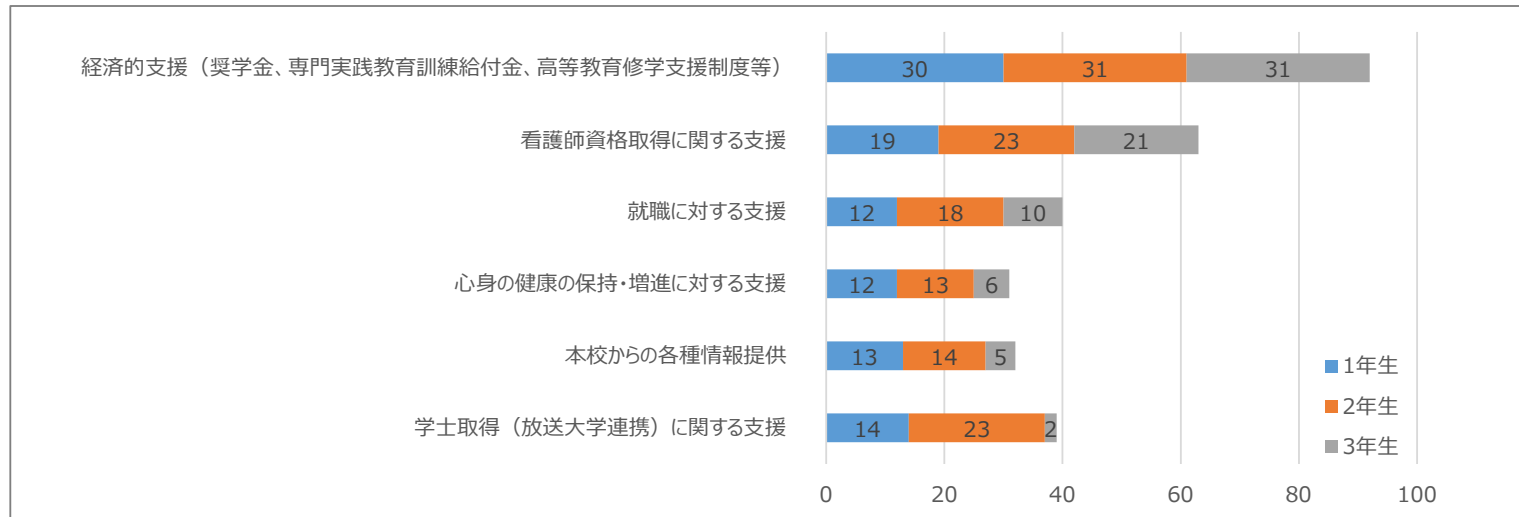
臨地実習での学び

【 学生生活の満足 】

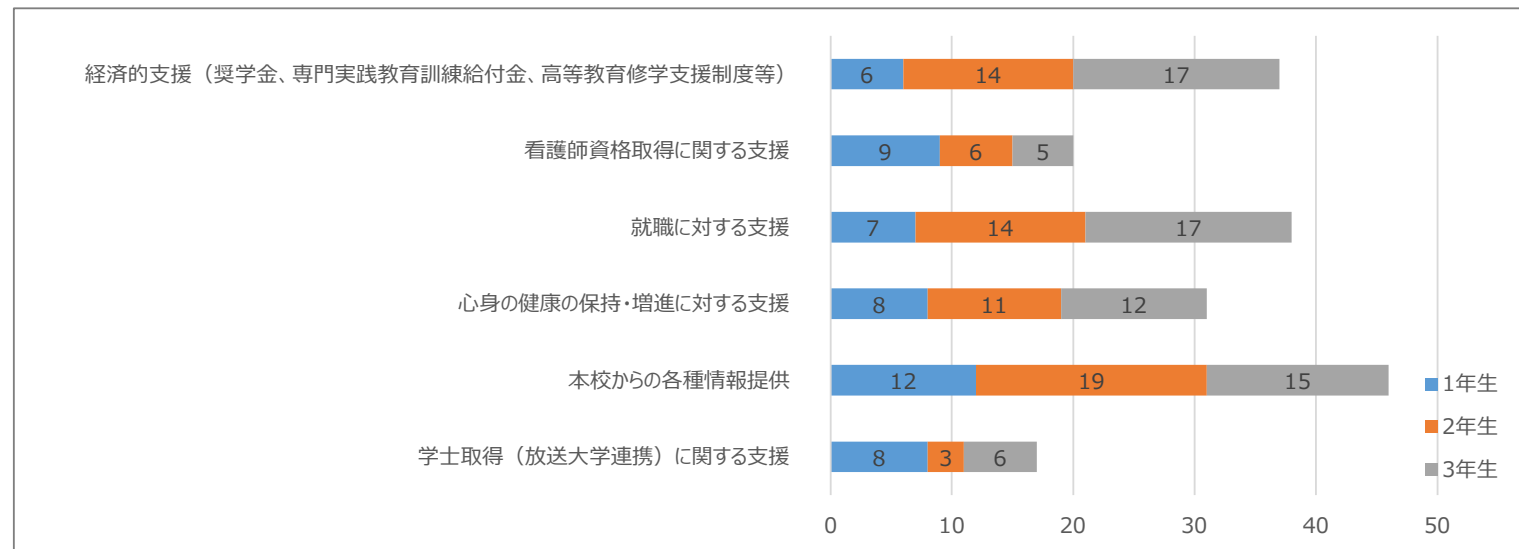
14.あなたの学生生活における以下の点についてどの程度満足していますか



15.本校の学生生活支援制度についてあなたは満足していますか。満足している項目は全て選択してください（複数選択）

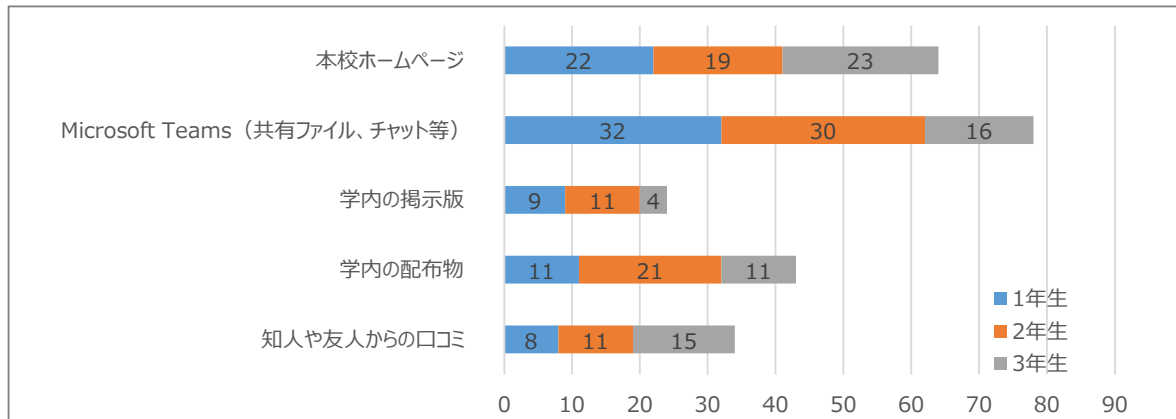


16.本校の学生生活支援制度について不満を感じる項目を全て選択してください。（複数選択）



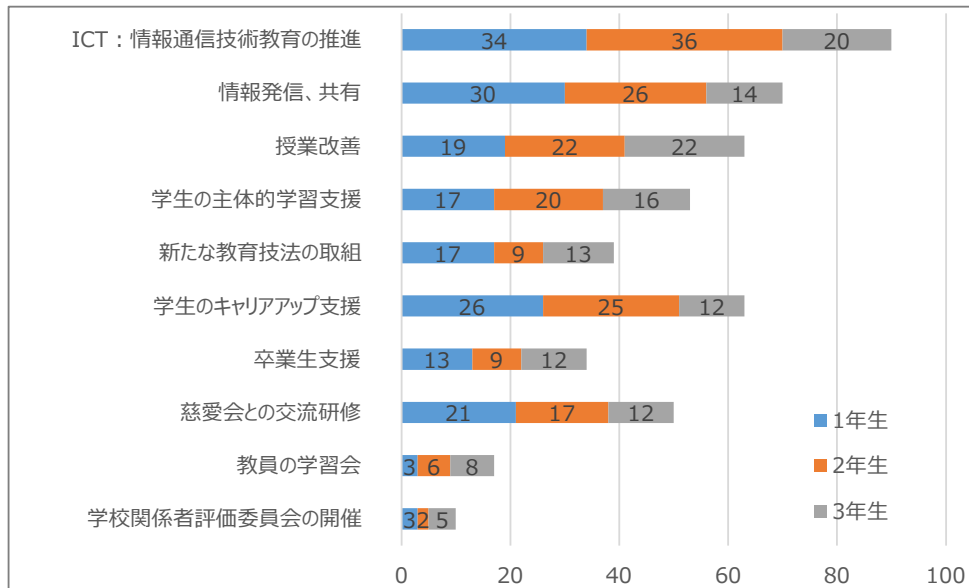
【 情報収集 】

17.あなたは本校の情報を収集する際にどのような媒体を日常的に利用していますか。利用している媒体を全て選択してください（複数選択）



【 本校の取り組みの周知 】

18.あなたは、本校が「教育の質の向上」を目指して取り組んでいる以下の内容について知っていますか？ 知っていることを全て選択してください（複数選択）



ICT：情報通信技術教育の推進

… WiFi環境整備、電子テキストの導入、オンライン授業の実施、電子黒板の活用等

情報発信、共有

… ICTを活用した情報発信、共有、Microsoft Teamsを活用したアンケート等の実施等

授業改善 … 授業評価の実施等

学生の主体的学習支援

… シラバスの工夫、国家試験学習支援パス作成、担当教員による看護技術確認等

新たな教育技法の取組

… 協働学習、主体的学習支援のためのポートフォリオ活用、動画を活用した技術教育等

学生のキャリアアップ支援 … 放送大学とのダブルスクール制度の導入

卒業生支援 … サポートキャンパス開催、個別悩み相談、図書室開放等

慈愛会との交流研修 … J-seatyナース研修等

19.本校の教育の質の向上のために、今後、学校はどのようなことに取り組んだらよいと思いますか？（自由記載）

-
- ・現在行っている体験型の講義は、自分自身講義内容を理解する上でとても助けになっているのでこれからも続けてほしいと思います。
-
- ・十分に対応してくださっていると思うので、このまま支援体制を維持していただけたらと思っています。
-
- ・授業内容の質の向上
-
- ・配布資料が多すぎる。せっかくiPadなど電子化を進めているのにうまく活用できていない。教科書をそのままコピーして配布している授業などもある。そのあたりが無駄が多すぎるので改善してほしい。
 - ・iPadや電子黒板を教員、講師がそつなく使えるようにしてほしい。
 - ・教室内の勉強できる環境づくり(空調・音など)
 - ・授業以外の活動(掃除や話し合い等)の際の生徒指導
-
- ・iPadの制限解除→看護rooでも開けないページがあります。
 - ・時間割を20日に出す割には変更が多すぎるので、確定版を出て欲しいです。もし変更点があるのなら、時間割(仮)など書いて欲しいです。
 - ・終講後直ぐにテストがあるものもあれば、何週間か経った後にテストがある場合があって大変。
-
- ・テストを長期休み前に詰め込むのはやめて欲しいです。終講の1週間後にテストがあると聞いていましたが、最近は無駄なく最後に詰め込まれてるのでそこは守ってほしいです。
-
- ・iPadが非常に使いづらいです。制限が厳しすぎて学習に支障しか来たしていません。アプリだけでもさせてくれないと、ワードなどがおもしろい。
-
- ・事前にどんな内容の参考書などを購入するのか伝えてほしかった。マイナビ講座や解剖生理学のノートまとめについて講義していただくのはありがたいが、学習を始めた頃に行なって欲しい。7月や11月じゃ遅すぎます。
-
- ・黒本や赤本は1年時のうちに購入できるようにしてほしい。
さわ研究所の解剖ノートは1年生の前期授業開始時に手元にあるとよい。前期授業終了間際だと、ある程度自身のノートの取り方なども確立している人もおり、学習の補助的なノートというより新たな「課題」のように感じられ、精神的負担になる。購入が自由であれば、さわ研究所の解剖ノートは魅力的ではないので購入したくない。
-
- ・コロナ禍に先駆け、iPadを導入された事は私たちの学習機会をよりよくしてもらえたとても感謝しています。
 - ・一年半越し提案として、社会人でお子さんや感染者の待機期間等でやむ得ずお休みされる方のために、せっかくオンライン授業や録画映像等を観れるシステムもあるので、欠課した講義を録画で配信できたりするといいなとおもいます。また、やむ得ない状況の欠席はオンライン授業で受けてもらい、アンケートやレポート等を提出する事で出席扱いにしてもらえるような救済措置があるとお子さんがいる方はより安心して学業、資格取得に取り組めるのではないかなと思います。単位取得等の詳しい要件は全く知りませんので、あくまで可能であればいいなという一人の考えです。
-
- ・まだ低学年ということもあるのかもしれないが、国家試験合格という漠然とした目標に向かっていく実感はあるが、その過程で身につける学習や技術は、自分のためにというより、カリキュラムをこなすために取り組んでいるような感覚になってしまうことがある。自分の姿勢の問題もあると思うが、学習や技術に取り組む中で、なぜこれ必要な学習なのか、技術なのかを明確化できるような指導をして、みんながもっと意欲的に同じ心持ちで目標に向かえるようにしてほしい。
-
- ・資料を読むだけの講義もあるので、実体験などの想像しやすい講義にしてほしい
-
- ・授業終了時にその時間で習った範囲の国試問題を解く
-
- ・混乱するケースがあったため、教員間での正確な情報共有
-
- ・学生の声を聞く機会を作る。 ・学生一人一人のペースに合わせた指導。
-
- ・看護研究の際に文献のほとんどが見れないため学習がうまく進めることができていません。研究をするならしっかりとできる環境を整えてほしいと思っています。
看護研究は評価に入る上に、実習や国試対策と同時進行で時間がない中で文献検索の時間がなかなか確保できません。その中で見れる文献が限られてきています。また、興味のある文献がほとんど見れないため、せっかくの看護研究の時間が無駄になっているような気がします。
-

はじめに

本校が目指す「学生が主体的・自主的に学び合う学校」の教育評価と今後の学校の取組への参考にするために、今年度は本校の教育の効果に焦点を当て、アンケートを実施した。アンケートはウェブでの回答とし、学生には、アンケートの目的、参加の自由と成績への影響はないことを口頭と文書で説明し、協力を得た。また、個人が特定されないようアンケートの投稿は匿名とした。

1) 学生アンケートの実施状況、回収率

- (1) 実施期間 : 令和3年7月16日～7月30日
- (2) 対象者 : 1年生44名、2年生52名、3年生41名 計137名
- (3) 回収率 : 1年生41(93.2%)、2年生46(88.5%)、3年生46(112.2%:複数回答有)
回答数133、回答者128名(93.4%)

2) アンケート結果総括

(1) 【学生の学ぶ姿勢】

『本校の教育理念、教育目標、学年目標』は、1年生98%、2年生90%、3年生87%、『本校の期待される卒業生像』についても1年生95%、2年生84%、3年生89%の学生が、「理解している」、「まあまあ理解している」と答えている。また、『学年目標を意識して主体的に学習していますか?』の設問にも1年生95%、2年生80%、3年生89%の学生が「主体的に学習している」、「まあまあ主体的に学習している」と答えており、大方の学生が本校の教育方針を理解し学習に臨んでいる。ただ、2年生の9%は、「全く主体的でない」と答えており、例年3学年の中で狭間の学年と言われる2年生の中には、学習に主体的になれずにジレンマを感じている学生も伺える。

授業以外の『自宅での学習時間』は、1年生の8割、2年生の7割弱は「1時間以上」の学習時間を確保しており、その中でも30%以上の学生は「2時間以上」学習している。3年生は88%の学生は「1時間以上」、66%の学生は「2時間以上」学習しており、5月からの実習もあり、日々学習する習慣がついていると考える。しかし、1年生5%、2年生4%の学生は「全く学習しない」と答えており、今後の学習習慣獲得への指導が全員の看護師資格取得、学び続ける看護職の育成に繋がっていくと考える。

(2) 【課外活動】

『地域活動(アルバイトを除くインターシップやボランティア、地域清掃活動)への参加』は、積極的に参加している学生は10%に満たず、「あまり興味がない」、「全く興味がない」と答えた学生は1年生17%、2年生28%、3年生11%で、地域参画への意識の薄い現実も浮かびあがる。また、1年生78%、2年生54%、3年生72%の学生が、「興味はあるが、参加の機会がない」と答えており、昨年から続くコロナ禍で地域活動そのものが縮小している状況も考えられる。

ただ、時々参加も含めて参加している学生は1年生5%なのに対し、2年生18%、3年生18%と少しではあるが割合は高くなっており、地域を意識させる教育の効果も考えられる。地域で共に暮らす看護職の役割はこれからますます求められることを考え、地域への関心や学生自身が地域住民の一人という意識を高めていくかわりを強化していきたい。

(3) 【支援体制】

『学校職員のサポート』には、1年生 98%、2年生 85%、3年生 85%の学生が「満足」、「どちらかといえば満足」と答えており、大方の学生はサポートを受けられていると感じている。しかし、1年生 2%、2年生 15%、3年生 15%の学生は「どちらかといえば不満」、「不満」と答えており、今後も学生の声に耳を傾け、改善していきたい。

(4) 【学習形態による学び】

授業では、多様な学び方、授業方法を体験しているが、中でも『学びが大きい学習形態』として、72.9%の学生が「実験や実習等の体験」と答えており、「学生同士の議論」52.6%、「カンファレンス等」42.9%、「調べ学習などのグループワーク」38.3%、「発表」36%と続いている。アクティブラーニングなどが教育方法として効果的と言われているが、本校学生も能動的な学習は、学びの達成感に繋がっている。

(5) 【本校で身に着いた能力】

本校が卒業生に身につけさせたい能力の7項目『専門的知識や看護の技術』『社会の問題を自らの課題と捉えられる課題発見力』『課題を解決するための問題解決能力』『自分と異なる価値観や背景を持つ人々に対する理解力』『他者とのコミュニケーション能力』、『主体的に学習し続ける能力』『倫理的な気づき』を設問とした。

『専門的知識や看護の技術』は3学年ともに90%前後の学生が、『自分と異なる価値観や背景を持つ人々に対する理解力』は1年生 90%、2年生 79%、3年生 94%の学生が「身に着いた」、「どちらかといえば身に着いた」と答えており、看護の対象である人間の理解や専門的な学習の達成度が高い。また、『社会の問題を自らの課題と捉えられる課題発見力』は3学年ともに70%前後の学生が「身に着いた」、「どちらかといえば身に着いた」と回答しておりコロナ感染症拡大の情報等も含め、社会問題への関心を持っていることが伺える。

『課題を解決するための問題解決能力』、『自分と異なる価値観や背景を持つ人々に対する理解力』、『他者とのコミュニケーション能力』、『主体的に学習し続ける能力』、『倫理的な気づき』では、1年生、3年生は高く2年生がやや低い回答になっている。1年生は看護の意義や倫理的な考え方を学び看護技術の実践を通して、現段階でやりがい、達成感を感じていると考えられる。反対に2年生は、専門的な学習が進み、看護の難しさを感じてまだまだ難しい、「身につけていない」という不安もあるのかも知れない。

3年生は、特に『他者とのコミュニケーション能力』や『倫理的な気づきの力』の項目が他の学年に比較して大きく伸びており、実習での実践を通して能力の獲得を実感していると考ええる。

本校で身につけた能力について、各学年の学生の感じ方に差はあるが学習進度によるものも大きく、全体的には学生達は本校が目指す能力の獲得に向けて学習を進めている様子が伺える。

(6) 【学生生活の満足】

学生生活の満足については、他の項目に比較して『課外活動』がやや低いが、学内での満足は3学年ともに80%以上の学生が「満足」、「どちらかといえば満足」と答えている。

また、本校の学生生活支援制度については、『経済的支援（奨学金、専門実践訓練給付金、高等教育修学支援制度等）』を92名（69%）の学生が「満足」としているが、37名（26.8%）の学生は「不満足」と回答している。コロナ禍で家庭の経済力が低下した学生も多く、事務部門を中心に、学生個々の状況把握や面接、各種奨学金の紹介や慈愛会本部と連携を図っての新たな奨学金制度の増設、慈愛会各施設でのアルバイトの調整等を実施し、学生の学業継続を支援した。その結果、経済支援に満足した学生が多く、それでもまだまだ経済的不安を抱えている学生も30%弱いることが伺える。

(7) 【情報収集】

本校学生の情報収集手段は本校ホームページや Microsoft teams を活用した情報共有を活用していることが分かる。

(8) 【本校の取組の周知】

本校の教育の質の向上を目指した様々な取り組みについて、学生は『情報通信技術の推進』は 90.7%、『情報発信』52.6%、『授業改善』47.4%、『学生のキャリアアップ支援』47.4%、『学生の主体的学習支援』39.8%の学生は、知っていると回答している。『授業改善』や『学生の主体的学習支援』の項目は授業の中での教員、講師の教育技法や授業評価への取り組みを評価していると考え。また、『学生のキャリアアップ支援』の項目は、看護師資格取得のための国家試験対策や今年度から導入した放送大学とのダブルスクール制度の導入を評価し、知っていると回答していると考え。

今後も本校が学生支援のために取り組んでいることを広く周知し、本校学生の学生生活の満足に繋げていきたい。